



「長崎原爆平和記念像」

九州地区：広瀬 善美氏

昭和20年8月9日長崎に原爆が投下され、一瞬にして7万4千人の尊い命を奪い、町を破壊し、かろうじて助かった人も心と体に傷跡と健康被害を残しました。そのため悲惨な戦争を繰り返さず世界平和への願いを込めて「平和記念像」が建立されました。高さ10M弱、重さ30トンあり、天を指した右手は“原爆の脅威”を、水平に伸ばした左手は“平和”を、軽く閉じた瞼は“原爆犠牲者の冥福を祈る”という想いを込めて、長崎出身の北村西望が作成しました。

この記念像の前で8月9日、被爆者遺族・各国代表・安倍総理大臣等が参加して平和記念式典が開催されます。今年はコロナウイルスの影響で、十分な間隔を確保するため規模を縮小し、2Mの間隔を取って約500席とし、昨年10分の1程度で実施の予定です。